

# 小学校第5学年 外国語活動指導案

日 時 平成27年6月30日(火) 2校時

指導者 教育センター所員 JTE 川原 浩子

## 1 単元名 Lesson 5 友だちにインタビューしよう

### 2 単元設定の理由

- 本単元は、「Hi, friends! 1 Lesson 5 友だちにインタビューしよう」の活動を基に内容を児童の実態に合わせて使用し、児童の興味・関心に沿って英語表現に出会わせ、人との関わりを楽しむ活動を仕組んだものである。児童の身近で関心をもちやすい事柄のひとつである色、形、食べ物や動物などに関する内容をトピックとして取り上げ、好きなものを友達やJTEと英語で伝え合う表現活動を通して、他者と関わり合い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことを主なねらいとしている。自分の生活を振り返って好きな食べ物や動物などを考えることは、児童にとって身近なことであり、関心を持って取り組むであろうと予想できる。そしてお互いに言葉を交わし、友達の好きなものを聞くことで、その人の意外な一面を知ったり、より相手のことを理解したりすることができる。同時に、自分のことを伝え、自分のことを分かってもらうことで、喜びを感じるであろう。このように自分の感情や思いを表現したり、他者のそれを受け止めたりする心地よい体験を積み重ねていくことが大切になってくる。これは、学習指導要領に示されている「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」に関連する。そこで、単元のゴールに「世界に一つしかない5年1組Book～友達のことがもっと分かるよ!～」をみんなで作ることを見据え、インタビュー活動を活性化させていきたい。そうすることで、言葉で伝え合うことよさを感じ取らせ、それが、積極的に人と関わりコミュニケーションを図ろうとする児童を育てることにつながると考える。
- 本学級の児童は、今年度はALTや担任による指導形態を中心に週に1回の外国語活動を経験してきている。本単元で取り扱う食べ物やスポーツの英語表現は、外来語として聞いた経験があるので理解しやすいと予想できる。実態調査によると、外国語活動では、ゲームを楽しむ印象の方が大きく、人との関わりに目を向け、そこに楽しみを感じる児童はまだ少ない。前単元までの活動で、外国語と日本語の言葉のどこが違うのか注意深く聞いたり、相手と関わってその思いを受け取ったり、または自分の思いを受け取ってもらえた喜びを感じたりということを少しずつ体験してきているところである。外国語を用いて、言いたいことを何とかして伝えようとする態度や、相手の思いを受け止めようとする態度の育成を目指していきたい。
- 指導に当たっては、児童の聞きたい・伝えたい思いを膨らませ、それを積極的なコミュニケーション活動に結び付けていくために次のような手立てを取る。

まず、単語と出会わせたり他者の思いをくみ取らせたりするときは、他教科等と関連付けた活動も取り入れ、児童がより身近に感じることができる材料を準備する。また、デジタル教材の利用に加え、パワーポイントによる自作教材などのICTを効果的に活用していくことで、児童の興味関心を喚起させ、視覚的な理解も促していきたい。

次に、単元のゴールに外国語を通じてインタビューした内容をまとめた「世界に一つしかない5年1組Book」をみんなで作ることを目指し、最初から目的意識をもって活動させていく。好きなものを尋ねたり伝えたりする必要性が高まる動機付けをし、この活動を通して、人によって好みが違うことを改めて感じさせるとともに、言葉が人を理解するための重要なツールであることを感じ取らせていきたい。そして、外国語を使って相手の思いを受け取ろうとしたこと、「もっと相手のことが分かった、自分のことを受け止めてもらった」という体験を重ねていくことができる場の設定をすることで、外国語を通じて、人と関わることの楽しさやよさを感じさせ、「人と関わろうとする気持ち・意欲・態度」を育てていきたい。

また、本単元全体を通して、気持ちのよいコミュニケーションとはどのようなものかを考えさせ、振り返りカードの記述を紹介したり、活動途中で形成的評価の言葉掛けをしたりして、気付きの質を高めていく。

さらに、相手に本当に聞きたいことを外国語を通じて尋ね、これまで知らなかった友達の意外な一面や、自分と同じであったり違っていたりする面を「5年1組Book」にまとめることで、児童同士がお互いを見つめ大切に思う心を育てていきたい。

### 3 単元目標

- 外国語を用いて相手の好きなものについて尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、人それぞれにいろいろな思いや考えがあることに気付くとともに、好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、友達やJTEに積極的に関わろうとする。

### 4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・好きなものについて、進んで尋ねたり答えたりしようとしながら、友達やJTEに積極的に関わろうとしている。	・好きなものは何かを尋ねる表現に慣れ親しみ、それらを用いながら活動している。	・日本語と英語の音の違いに気付いている。 ・人それぞれに様々な思いや考えがあることに気付いている。

### 5 単元計画（全5時間）

時	活動名・目標	主な活動	評価			
			コ	慣	気	評価規準
1	<b>好きな色や形は何？</b> ・英語での色や形の言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気付く。 ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりすることで、考えや思いの違いに気付く。 What ~ do you like? I like ~.	・楽器のトライアングルやお盆など実物を見て、英語表現に慣れ親しんでいく。 ・形さがしゲーム ・Let's Listen 1, 2 ・Let's Chant ・4つの部屋ゲーム ・「夏」をイメージする色を伝え合う。				日本語と英語の音の違いに気付いている。 自分と友達との考えや思いを比べ、異同に気付き相手の思いを受け入れようとする。
2	<b>先生の好きなものは何？</b> ・好きなものは何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 What ~do you like? I like ~.	・Let's Chant ・果物や動物などの英語表現のカテゴリー分けをする。 ・ラッキーカードゲームをして、尋ねる英語表現に親しむ。 ・ALTやJTEの好きなものを予想し、尋ねる。			○	好きなものを尋ねる表現を用いたり、答えたりしながら活動している。
3 本時	<b>好きなものをインタビューしよう</b> ・好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりして、友達とより深く関わろうとする。	・カテゴリーを変えながら、4つの部屋ゲームをする。 ・ラッキーカードゲームをして、尋ねる英語表現に親しむ。 ・友達の好きなものを予想してインタビューしたり、自分のことを伝えたりする。	○			好きなものについて、尋ねたり答えたりするなど、友達に積極的に関わろうとしている。
4	<b>「5年1組友達 Book」を作ろう</b> ・他己紹介を聞くことで、友達に思いを寄せて積極的に関わろうとする。 ・友達を紹介する本を作成することで、友達の好みや思いに寄り添う。	・インタビューしたことを基に、他己紹介をする。 ・インタビューメモを参考にしながら、友達についての記事を作成する。	○		○	友達の好きなものを予想して積極的に関わろうとする。 Book作りを通して、相手に対する気付きを持っている。

### 6 本時の目標

好きなものについて、積極的に尋ねたり答えたりして、友達とより深く関わろうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

7 指導の視点

豊かな人間関係を築くためには、「人と関わろうとする気持ち・意欲・態度」が必要になる。そのためには、「自分の思いが伝わった」「相手の気持ちが分かった」と思える心地よいコミュニケーション活動の体験を積み重ねていくことが大切である。本時においては、単元のゴール「5年1組 Book」を作るためのインタビュー活動を設定し、外国語を通して好きなものを聞いたり伝えたりさせる。前時までには慣れ親しんだ英語表現やジェスチャーなどを使いながら何とか伝えようとする態度や、相手の思いを予想しながら聞こうとする姿勢、そして、気持ちのよい関わりを持つようとしている姿を評価する言葉掛けをして、価値付けをしていく。児童には、心地よい関わりをしていくための視点を挙げ、意識させる。相手と人と関わることの楽しさやよさを体験することを通して、「人と関わろうとする気持ち・意欲・態度」を育て、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童を育成する授業づくりを目指していく。

8 展開（全4時間 本時3/4 主な英語表現 [ ] 評価 [ ] ）

時間	児童の主な活動	JTEの主な働き掛け (○) 評価 (◎) 配慮を要すると判断した児童への指導 (●)	準備
5	1 前時の活動を振り返り、活動のテーマを確認する。	○ 前時の振り返りカードの感想から、友達との関わりや言語・文化に関する気付きでよかったことを紹介し、本時でも意識させていく手掛かりにさせる。 友だちにインタビューをして、もっと友だちのことを知ろう！ ○ 5年1組友達 Book を作ることを確認し、目的意識を持たせる。	前時の振り返りカード
7	2 4つの部屋ゲーム (全員) 好きなものを尋ねる英語表現を聞き、教室の四隅にある答えの中で、自分の好きなものところに移動する。	○ 電子黒板で工夫して提示したものを考えて答えさせることで、繰り返し英語の音声に慣れさせる。 ○ 学習したものを、カテゴリーに分けさせる。 [Fruit] bananas, cherries, apples, strawberries, lemons, melons, pineapples, peaches, grapes, oranges, kiwi fruits, [Animal] rabbits and birds, dogs, cats, spiders [Sport] basketball, tennis, baseball, swimming, soccer [Color] red, yellow, white, green, blue, brown, black, purple, orange, pink [Shape] triangle, star, heart, circle, diamond ○ 好きなものを尋ねる英語表現を繰り返し全員で言わせ、慣れ親しませる。 ○ 友達が移動した場所からそれぞれの好みが明らかになることで、それぞれ違いがあることに気付かせる。	電子黒板 食べ物や動物などの絵カード
8	3 ラッキーカードゲーム (グループ) カードを広げる。グループ全員で“What foods do you like?”と尋ね、一人が好きなものを選んでカードを取る。それを順番に繰り返す。	○ カテゴリー分けをしたものを使ってゲームをすることで、これまでに学習した食べ物の英語表現(単語)や好きなものを尋ねる表現に多く触れさせる。 ○ ラッキーカードを最後に持っている児童がラッキーであることを知らせることで、活動途中でうまく言えなかった児童も安心して言うことができるようにする。 What fruit /animal/ sport do you like? I like bananas/ rabbits and birds/ basketball.	食べ物の絵カード

20	<p>返す。最後に、JTE が発表するラッキーカードを持っていた人がラッキーというルールで進める。</p> <p>4 友達にインタビューをする。 予想する。 インタビューをする。 自分のことを伝える。</p> <p>① 全員で、となりの児童にインタビュー ② 1対1になってインタビュー (ペア)</p> <div data-bbox="247 779 571 1176" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ナイス！インタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き方「あいうえお」</li> <li>・予想して聞く。</li> <li>・目を見て 向き合っ</li> <li>・Hi! Thank you!</li> <li>・へー, なるほど。</li> <li>Good! Me,too. Why?</li> <li>・理由を尋ねてもよい。</li> <li>・ジェスチャーも OK</li> </ul> </div> <div data-bbox="263 1236 566 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「聞き方 あいうえお」</p> <p>あいてを見て いっしょうけんめい うなずきながら えがおで おわりまで 聞く</p>  </div> <p>「聞き方あいうえお」</p>	<p>○ ラッキーカードを持ってなかった児童でも、一生懸命伝えよう、尋ねようとしていた姿を評価する。</p> <p>○ 5年1組友達 Book を作ることを確認し、意欲を高める。</p> <p>○ 友達のことを考え、好きなものを予想させる。</p> <p>○ 最初に全員でインタビューする英語表現を言わせ、慣れてきたところで、ペアで言う場面にする。</p> <div data-bbox="598 564 1356 645" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>What animal do you like? I like dogs.</p> </div> <p>○ デモンストレーションで、気持ちのよいコミュニケーションをするための関わり方のポイントに気付かせる。 丁寧に関わり、相手の言葉を受け入れて言葉や態度で反応する、最初と最後のあいさつ</p> <p>○ カテゴリー分けされたものの中(インタビューシート)から一番好きなものを選ばせる。</p> <p>○ 言い方に自信のない児童と一緒に発音し、安心させる。</p> <p>○ 活動途中に児童の具体的な姿を評価する声掛けをして、よりよい関わりができるよう意識させる。</p> <p>○ 理由は日本語でもよいこととし、その答えに対して共感や感想の言葉を返している児童の姿を評価する。</p> <p>○ 途中で児童がより興味をもちそうな質問を与える。</p> <div data-bbox="598 1137 1356 1243" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>What attraction do you like? I like merry-go-round/ おばけ屋敷/ ジェットコースター/ 観覧車/ プール/ ゴーカート・・・</p> </div> <p>○ 外国語を使ってやりとりをしたことで、友達のことが今までより更に分かったことを感じ取らせる。</p> <div data-bbox="598 1339 1436 1713" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◎ 好きなものについて、尋ねたり答えたりするなど、友達や JTE と積極的に関わろうとしている。</p> <p style="text-align: center;">【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p style="text-align: center;">＜行動観察・発言・インタビューカードや振り返りカードの点検＞</p> <p>● 進んで関わりを持つことが難しい</p> <p style="padding-left: 20px;">使う英語表現が言いやすくなるようにヒントを与えたり、友達と一緒に言わせたりして安心感を与え、相手の方を見て関わろうとしている態度などを評価し、関わりへの自信を高めるようにする。</p> </div>	<p>Book 見本</p> <p>インタ ビュー カード</p> <p>マイク</p>
5	5 本時の活動を振り返る。	<p>○ 進んで活動していた姿やお互いを認め合う態度を具体的に評価し、次時はインタビューしたことをもとに友達のことを知らせる Book を作ることを伝える。</p> <p>○ 好きなものが同じだったり違っていたりするが、それを受け入れていた児童の姿勢や、進んでインタビュー活動をして友達に関わろうとしていた態度を称賛する。</p>	振り返りカード